

国際化の中で高まる

食の 危機管理 セミナー

～ 食の危機、新型インフルエンザなどの感染症、
バイオテロから企業をどう守るか ～

主催：三井住友海上火災保険株式会社

株式会社インターリスク総研

後援：The Business Continuity Institute (BCI)

BCIジャパンアライアンス

新型インフルエンザ対策コンソーシアム



日本ではここ数年来、食品の偽装表示など不祥事件が後を絶たない状況にあり、食への不安と不信が高まっています。また海外からの輸入食品の安全性など、企業として食の安全を支える基盤を強化する必要性にも直面しています。

農畜産物や食品の流通が国境を越えて拡大の一途を辿り、海外・国内の農業生産と、加工、外食調理までつながる「FOOD SUPPLY CHAIN」のグローバル化は急速に進展しています。こうした状況の中で、悪意や犯罪的な意図による食品テロ、あるいはバイオ災害、新型インフルエンザをはじめとする新興感染症などに備えて、企業として危機管理体制、事業継続体制をどう構築すれば良いかについてのセミナーを企画いたしましたので、ご案内申し上げます。

日時

2008年10月2日(木) 13:00～17:30 (受付開始12:30)

場所

中央大学駿河台記念館 370号室 (東京都千代田区神田駿河台3-11-5)

スピーカー

ジョージタウン大学法科大学客員教授
松延 洋平 氏

株式会社インターリスク総研 研究開発部
上席コンサルタント
中原 純一郎

(社)前日本食品衛生協会専務理事、元厚生省検疫技官、
獣医師、TAPA保全協会日本支部内部監査員

東島 弘明 氏

東京慈恵医科大学 臨床研究開発室長、医学博士
浦島 充佳 准教授

対象

企業の経営者、経営企画・総務・事業継続・リスクマネジメント、食品安全衛生などの各部門担当者

参加費

無料

定員

200名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

お申し込み先

食の安全セミナー事務局 (株式会社インターリスク総研)

FAX 03-5296-8940

e-mail: asako.oomameuda@ms-ins.com

BCIについて



BCI(The Business Continuity Institute;事業継続協会)は、BCMIに携わる専門家の支援とガイドラインの提供を目的として、1994年に設立された世界最大規模のBCM有資格者の会員組織です。現在世界90カ国に、4,500名以上の会員を有しています。これまで、BCMIに関するガイドラインの作成やセミナーの開催などを通して、全世界へBCMの普及・啓発活動を行ってきました。

URL <http://www.thebci.org/>

BCIジャパンアライアンスについて

BCIジャパンアライアンスは、日本海外の企業、大学、NPO31機関が連携し、BCMの普及・啓発を行っています。具体的には事業継続に関わる国際動向などの情報発信、セミナーの開催、ニュースレターの作成などを行っています。また、世界的に普及されているBCIの試験資格制度を日本で展開しています。

URL <http://www.bcijapan.jp/>

新型インフルエンザ対策コンソーシアムについて

新型インフルエンザ対策コンソーシアムは、新型インフルエンザ対策の普及啓発、新型インフルエンザに関する調査研究、専門機関との連携、BCIジャパンアライアンスとの連携を目的とした非営利の協業組織として活動しています。

URL <http://www.pandemic-flu.jp/>

セミナー会場のご案内

中央大学駿河台記念館
370号室
東京都千代田区神田駿河台3-11-5

JR	御茶ノ水駅下車、徒歩3分
丸ノ内線	御茶ノ水駅下車、徒歩6分
千代田線	新御茶ノ水駅下車（B1出口） 徒歩3分
都営新宿線	小川町駅下車（B5出口） 徒歩5分



～ Seminar at a Glance ～

13:00	開会のご挨拶
第一部	激変する脅威とその『食の安全』のすがた
13:05	1. 国際化の中で食の安全を守るこれからの危機管理(基調講演) バイオ災害、食・バイオテロ、新興感染症などに備えてのマネジメントや危機管理体制、事業継続体制をどう構築すればよいか？ 国際食アナリスト、コーネル大学終身評議員、NPO法人NBCR対策推進機構副理事長、ジョージタウン大学法科大学客員教授 松延 洋平 氏
14:35	2. 過去の食品事故を通じての教訓、 そして事業継続を観点とした企業に対する提言 食品事故・感染症などの発生に備えた事業継続および危機管理体制の構築を具体的に解説。併せてHACCP、ISO9001、ISO22000との関係性に言及する。 株式会社インターリスク総研 研究開発部 上席コンサルタント 中原 純一郎
15:15	REFRESHMENT BREAK
第二部	食・バイオテロ、感染症への産・官の体制
15:30	3. 『中国冷凍ギョーザ事件に見る！ これからの食品・バイオテロへの備えをどう構築するか！』 中国冷凍ギョーザ事件の核心とは？過去の大事件に学び未来の食の安全への対応を考える (社)前日本食品衛生協会専務理事、元厚生省検疫技官、 獣医師、TAPA(物流・輸送・保管)保全協会日本支部内部監査員 東島 弘明 氏
16:30	4. 大規模感染症・食品テロのバイオ被害の早期探知と対策 地理情報システムGIS活用による食中毒・食バイオテロ・新型インフルエンザ等の脅威へ備えるウイルスや細菌等病原体等への現場対応を強化するシミュレーション 東京慈恵医科大学 臨床研究開発室長 医学博士 浦島 充佳 准教授
17:30	閉会の辞

※このプログラムは予告なしに変更される場合がございます。

食の安全セミナー事務局行
FAX 03-5296-8940

管理番号
(事務局記入欄)

食の安全セミナー参加申込書

FAX専用

貴社名	
部署名	
(フリガナ) ご出席者名	
役職	
住所	〒 —
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
今後、主催会社から食品安全、BCMなどに関する情報 (e-mail,DM,FAX) をお届けしてもよろしいですか？	
<input type="checkbox"/> 送付希望 <input type="checkbox"/> 不要	

※お申し込みをいただきましたら、折り返し参加票をご郵送申し上げますので、ご来場の際にご持参ください。

※申込書に記載して頂いた個人情報は、セミナーの運営や、主催企業のサービスのご案内以外に使用することなく、個人情報保護法に基づき厳重に管理させていただきます。